



NEWS 島大病院ニュース

2013.11 Vol.1

CONTENTS

- 小児心臓外科手術開始
- みらい棟オープン
- 遺伝性乳がん・卵巣がん遺伝子検査を開始
- 救命救急センター長就任挨拶
- 心臓リハビリテーション指導士誕生
- 外来インフォメーション「患者さんお知らせシステム」の稼働
- プライバシーマーク認証を更新取得
- 患者満足度調査の結果
- 育児休業中でもうさぎ保育所が利用できます

外来インフォメーション「患者さんお知らせシステム」の稼働

このシステムは、外来患者さんやご家族に対し、各診療科の専門医紹介、週の担当医表、休診情報、診療科からのお知らせ、診療科に特化した治療の案内の他、病院からのお知らせ、公開講座の案内などの情報発信を行う目的で導入され、本年10月から本稼働しています。

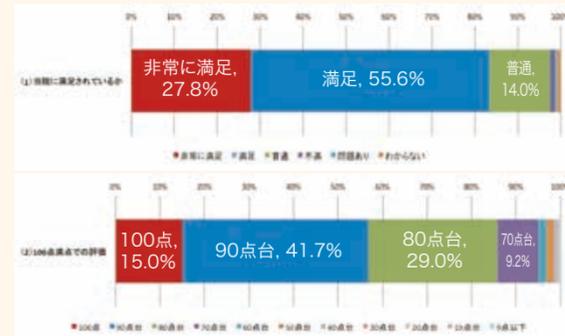
モニターは、外来・中央診療部門を中心に約30台設置されており、院内サーバー管理によって、緊急連絡が必要な場合等については、数分でテロップ表示が可能なシステムとなっています。



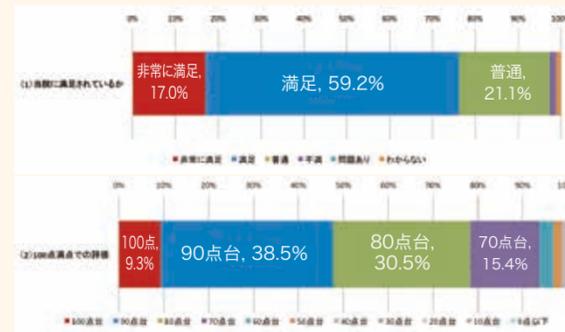
患者満足度調査の結果

当院では、患者さんからいただいた貴重な意見を今後のサービス向上に役立てるため、入院患者さんにアンケート方式による患者満足度調査を実施しています。なお、外来患者さんには9月27日に実施しました。回答率は、9月退院患者56%、外来患者63.2%でした。当院を100点満点で評価すると、85.7%、外来では78.3%の方が80点以上の点数をつけて頂きました。

9月退院患者



9月27日外来患者



プライバシーマーク認証を更新取得

個人情報保護事務局

当院はJIS Q 15001に基づくプライバシーマークの認証を平成19年に受けました。今年3月に更新審査を受け、7月23日の審査会にて3回目の更新が認められました。有効期限は平成27年3月です。国立大学病院でこの認証を受けているのは徳島大学病院と島根大学病院だけです。

プライバシーマークを維持し個人情報を確実に保護することは病院および職員個人の信頼を高め、信頼あってこそその病院です。今後ともご協力をお願いします。



育児休業中でもうさぎ保育所が利用できます

当院の院内保育施設「うさぎ保育所」は、育児休業の対象となった児童以外の児童（年上の児童）についても保育所をご利用いただけるようになりました。

入所可能な児童定員数は75名ですが、現在定員数に余裕がありますので、ご利用を希望される方や、その他ご不明点のある方は総務課総務係へお問い合わせください。

お問い合わせ先 TEL：0853-20-2015



小児心臓外科手術開始

平成25年4月、小児心臓外科の専門医であり、島根医科大学（島根大学医学部の前身）出身の藤本欣史医師を迎え、小児循環器医、麻酔科医、臨床工学士、手術室心臓外科看護師、ICU、NICU看護師を中心とする小児心臓手術専門チームを立ち上げ、平成25年10月4日に第1例目を実施しました。

手術日を年内は週1回に設定し、5年後100例の小児心臓手術を目指して、山陰地域において本院で手術・治療を受けていただけることで患者さんご家族の負担が軽減されることや、他の病院や行政と手を携えながら、「こどもたちの屈託のない笑顔を絶やさないう」山陰両県、近隣諸地域の小児心臓病治療の「最後の砦」となるよう心がけます。



記者会見の様子



手術室

みらい棟 オープン

本年8月に「みらい棟」がオープンしました。この建物は、中央診療棟に隣接し、1階に卒後臨床研修センター、しまね地域医療支援センター、2階は総合医療学講座、地域医療支援学、3階はがん関連の講座等が入り、4階にはTV会議システムを備え、100人程度収容可能な多目的研修室があります。この研修室は若手医師が将来一番星として活躍することを期待してGalaxy(ギャラクシー)と名付けています。卒後臨床研修センターでは、初期研修医用に広く快適なスペース、カンファレンス室などを確保し、一層充実した研修が行える環境を整えています。核となるしまね地域医療支援センターの主要な役割は、卒業後約10年までの若手医師のキャリア形成支援で、島根県に軸足を置き、基本領域の専門医を取得後、サブスペシャリティの専門医、あるいは同時に医学博士の学位取得を目標に研鑽を積む全ての医師をサポートします。「みらい棟」には、島根県の医療を担う若手医師の研修拠点として大きな期待が寄せられています。



しまねSuper大使「吉田くん」



みらい棟全景

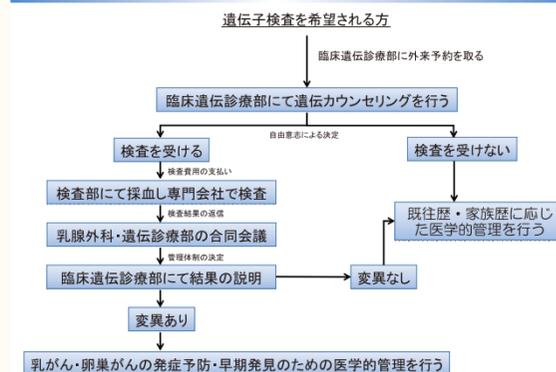
遺伝性乳がん・卵巣がん遺伝子検査を開始

遺伝性乳がん・卵巣がん（HBOC）は、乳がん、卵巣がんの約5-10%で、多くはBRCA1またはBRCA2遺伝子の変異が原因です。これらの変異を持つ人は乳がんや卵巣がんの発症あるいは治療後に再発する危険性が高く、予後が悪いことが知られています。この遺伝子変異を調べることで、遺伝性乳がんや卵巣がんの早期発見や予防に結びつけることができます。患者さん（発端者）の場合はBRCA1/2遺伝子変異のスクリーニング検査を行います。ご家族のBRCA1/2遺伝子変異がわかっている場合は、同じ変異があるかどうかを検査します。いずれも保険適用外で、自己負担額は前者でしたら約25万円、後者は約3万円です。患者さん、またはそのご家族の中で検査を希望される方は、まず臨床遺伝診療部医師による遺伝カウンセリングを受けていただきます。その上で、検査を行うかどうかを患者またはご家族に決定して頂きます。当院臨床遺伝診療部へお問い合わせ下さい。

臨床遺伝診療部

外来TEL：0853-20-2383（小児科外来）
FAX：0853-20-2397（小児科外来）

乳がん・卵巣がん遺伝子検査の流れ



救命救急センター長就任挨拶



にしまさよし 仁科 雅良

6月に島根大学医学部救急医学・附属病院救命救急センターに着任いたしましたにしまさよしと申します。救命救急センター長として地域の救急医療に少しでも貢献していきたいと思っております。附属病院全体の協力のもとに、直接来院・救急車での搬送を問わず24時間365日救急患者に対応しております。ドクターヘリも積極的に受け入れております。もちろん地域の先生方からのご紹介は必ずお引き受けするようにしております。どうかよろしくお願い申し上げます。

救命救急センター入口



救命救急センター病棟

救命救急センター初療室

心臓リハビリテーション指導士誕生

当院は、平成24年12月に心大血管疾患リハビリテーション(1)の施設基準を取得しました。平成25年7月の日本心臓リハビリテーション学会認定・心臓リハビリテーション指導士試験に、理学療法士の今岡 圭（写真右）、江草典政（写真左）が合格致しました。

循環器内科および心臓血管外科との定期カンファレンスを毎週開催し、入院患者さんを対象に診療を行っております。心臓リハビリテーションには心大血管疾患の再発率や死亡率を低下させるという高いエビデンスがありますので、本院での診療を拡充することによって、患者さんの日常生活への復帰や再発予防に貢献して参りたいと思っております。

